

第39回 稲盛フロンティア研究セミナー

下記の要領で稲盛フロンティア研究セミナーを開催致します。
皆様方のご参加を心よりお待ちしております。



日時: 平成31年3月12日(火) 14時00分～15時00分

場所: 稲盛財団記念館 2 F 会議室

ラット・マウスを用いた生殖工学基盤技術の開発とその応用

基礎生物学研究所 IBBP センター・特任助教
竹鶴 裕亮

要旨

生殖工学技術は、再生医療や不妊治療に用いられるなど、生殖細胞を人為的に操作する強力なツールとして様々な研究に利用されている。ラットやマウスにおいてもゲノム編集技術の急速な発展に生殖工学技術の向上が貢献しており、複雑化する実験系を組み立てる上で異なる分野の研究者や技術者の連携がこれまで以上に重要となってきている。演者はこれまでに、ラット・マウス等の実験動物を中心に生殖工学技術の開発に取り組み、ガラス化保存法を用いた簡易な前核期胚凍結法の開発や卵巣内卵母細胞を用いた体外成熟・受精・個体作出法の開発に成功した。これらの技術を実用化し、ナショナルバイオリソースプロジェクト「ラット」では、ラットの胚・精子の凍結保存、凍結胚・精子の品質管理、並びに、凍結胚・精子からの個体復元を行ってきた。また、新たに開発されたゲノム編集技術である rGONAD 法の習得にも取り組んでいる。本講演では、これらの新しい生殖工学技術の開発とその応用例などを紹介する。

【問い合わせ先】

九州大学稲盛フロンティア研究センター 先端生命情報研究部門

束田 裕一

Tel: 092-802-6960 E-mail: ytsukada@ifrc.kyushu-u.ac.jp

URL: <http://www.tsukada-lab.jp>